

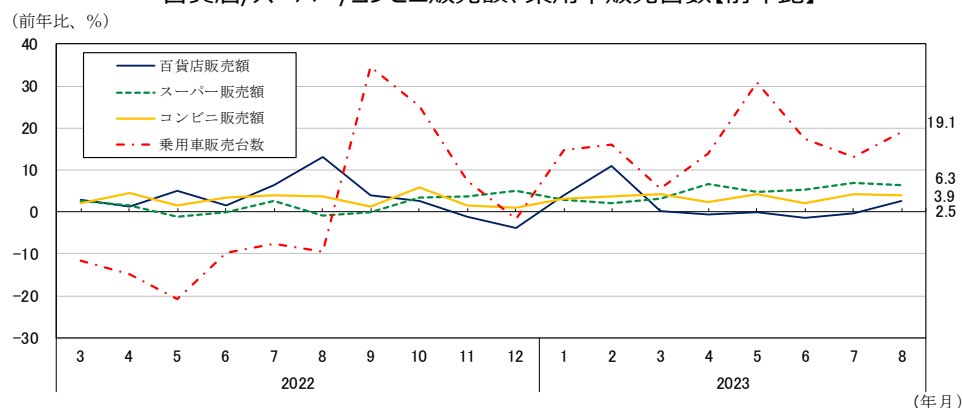
《最近の県内経済》 (2023年8月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。

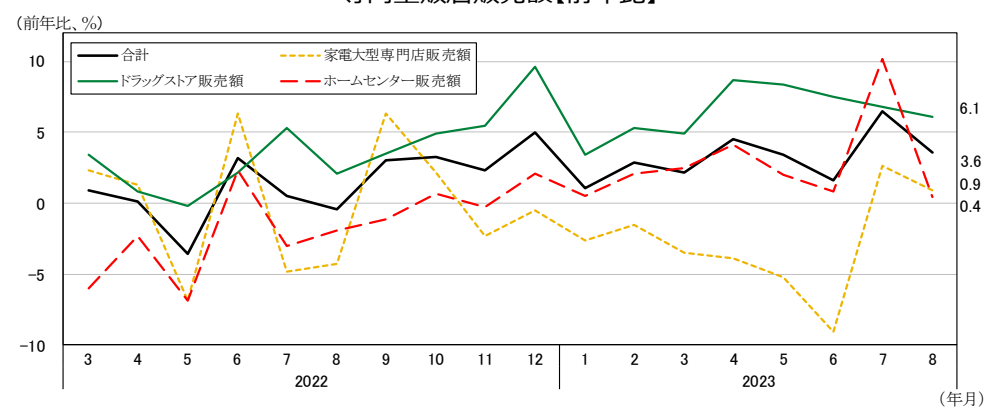
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

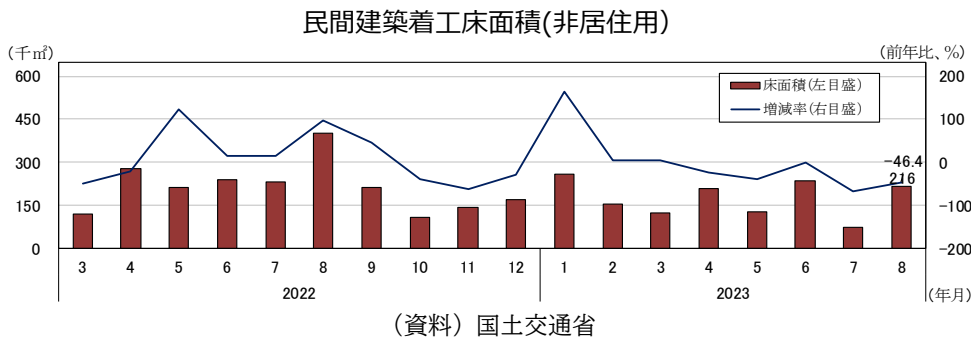
8月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が106億円の前年比2.5%増（3か月ぶりの増加）、スーパーは1,068億円で同6.3%増（11か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は597億円で同3.9%増と22か月連続の増加となった。販売価格上昇による影響を受けているものの、猛暑による季節商材の販売好調に加え、帰省客の増加や夏祭り等のイベント需要が好調を後押しした。

また、乗用車販売は、前年比19.1%増と8か月連続の増加となった。内訳をみると普通車が同比22.2%増と8か月連続の増加、小型車が同比7.0%増と2か月ぶりの増加、軽乗用車が同比24.1%増と4か月連続の増加となった。

8月の専門量販店販売額は、773億円で前年比3.6%増と12か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が171億円で同0.9%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが426億円で同6.1%増（15か月連続の増加）、ホームセンターが176億円で同0.4%増（9か月連続の増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、7月〈38.2〉、8月〈37.2〉、9月〈36.8〉と推移している。

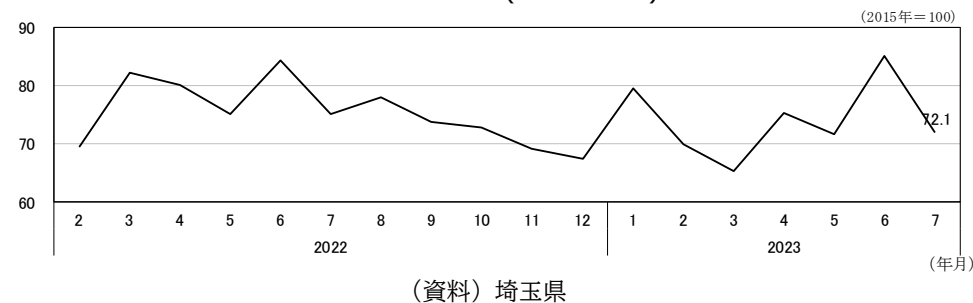
2 設備投資 ~持ち直している



8月の民間建築着工床面積（非居住用）は、216千㎡で前年比46.4%減と5か月連続の減少となった。（5か月後方移動平均でも前年比36.5%減）

用途別にみると、工場及び作業場は増加したものの、事務所、店舗、倉庫、病院・診療所がいずれも減少した。

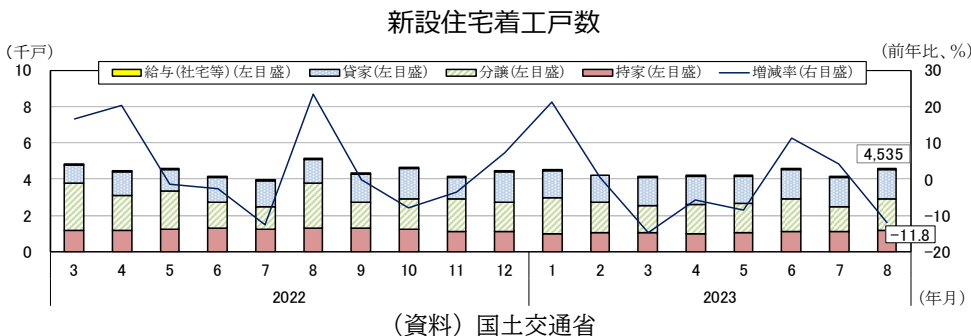
資本財出荷指数(季節調整済)



7月の資本財出荷指数（季節調整済）は72.1で、前月比15.3%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では、前年比0.4%増）。

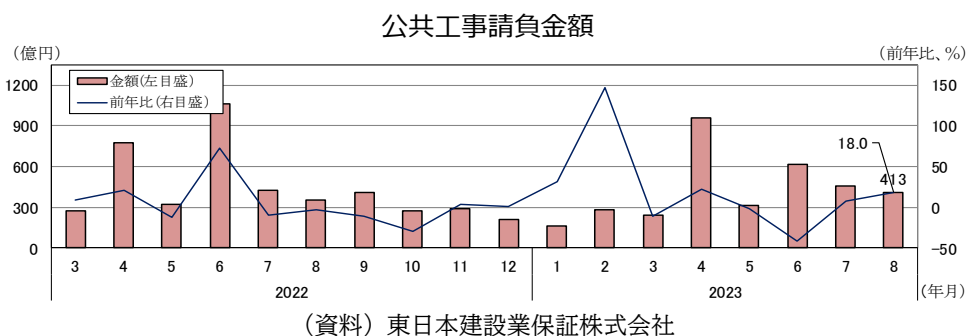
当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）

3 住宅建設 ~一進一退



8月の新設住宅着工戸数は、4,535戸で前年比11.8%減と3か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では2.8%減）。利用関係別にみると、貸家（1,642戸）が同21.6%増となったものの、持家（1,181戸）が同10.4%減、分譲マンション（389戸）が63.4%減、分譲戸建（1,312戸）が4.2%減といずれも減少した。

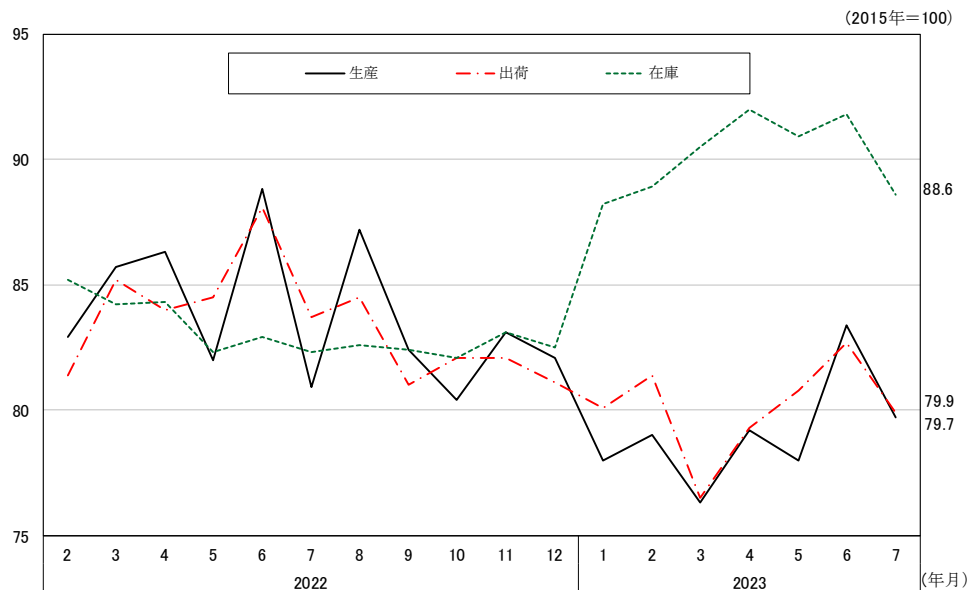
4 公共工事 ~横ばいとなっている



8月の公共工事請負額は413億円、前年比18.0%増となった（2か月連続の増加）。5か月後方移動平均では前年比5.9%減で推移。発注者別の前年比をみると、地方公社は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村はいずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



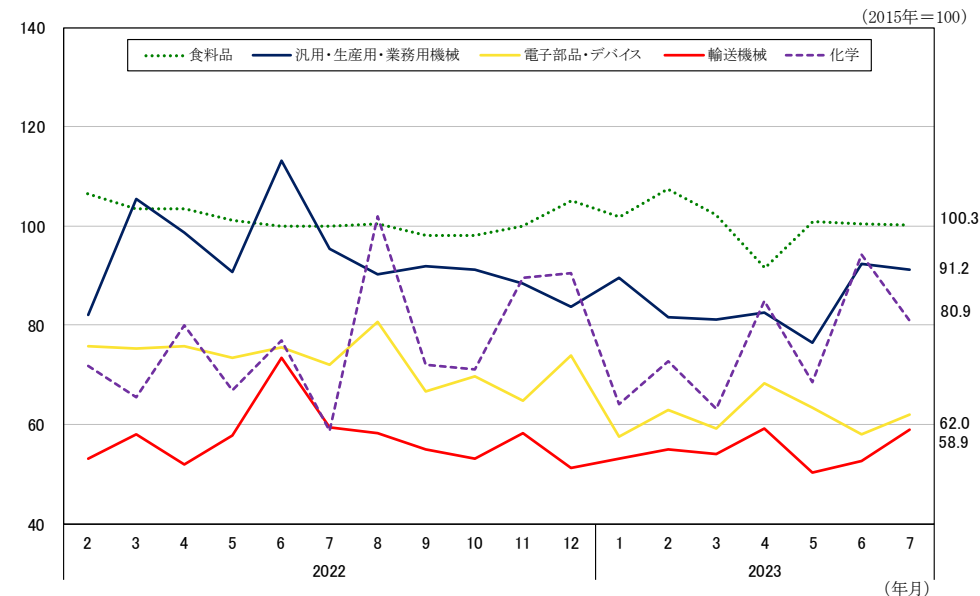
(資料) 埼玉県

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、79.7で前月比4.4%低下した(2か月ぶりの低下)。輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、電子部品・デバイス(混成集積回路、プリント配線実装基板)などが上昇したが、化学(医薬品、ウレタンフォーム)、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)などが低下した。

出荷指数(同)は、79.9で同3.4%低下(4か月ぶりの低下)。輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、非鉄金属(アルミニウム圧延製品、伸銅製品)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)、化学(医薬品、印刷インキ)などが低下した。

在庫指数(同)は、88.6で同3.5%低下した(2か月ぶりの低下)。パルプ・紙・紙加工品(衛生用紙、紙器用板紙)、電子部品・デバイス(混成集積回路、サーミスタ)などが上昇したが、生産用機械(マシンングセンタ、刈込機)窯業・土石製品(セメント、ポルトランドセメント・クリンカ)などが低下した。

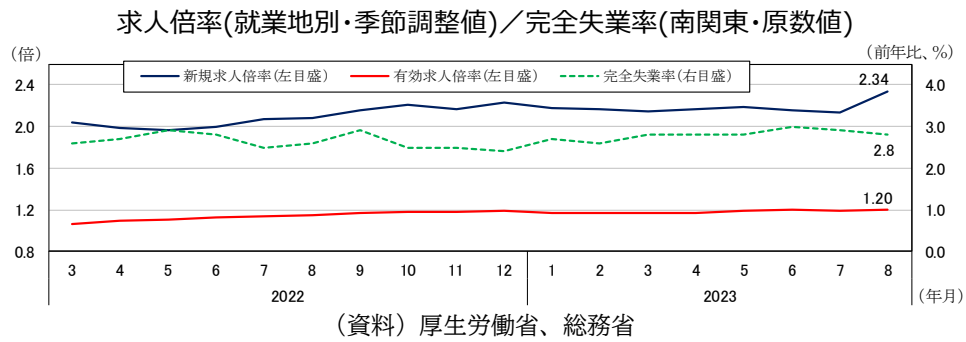
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

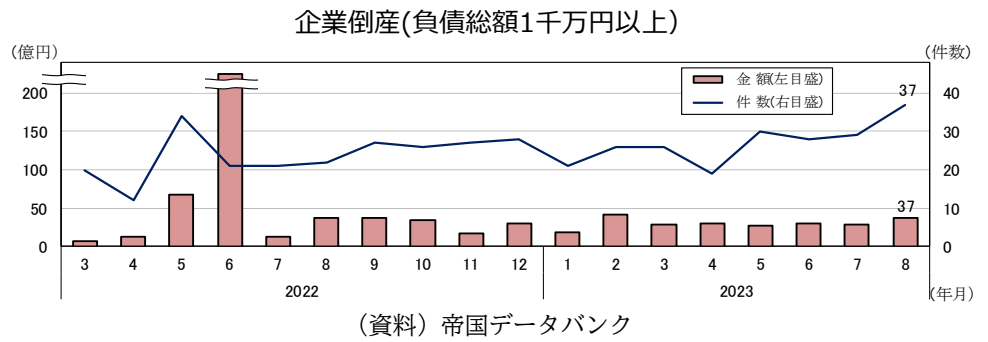
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.3で前月比0.1%低下、2か月連続の低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、91.2で同1.4%低下、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、62.0で同6.7%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、58.9で同12.0%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、80.9で同14.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



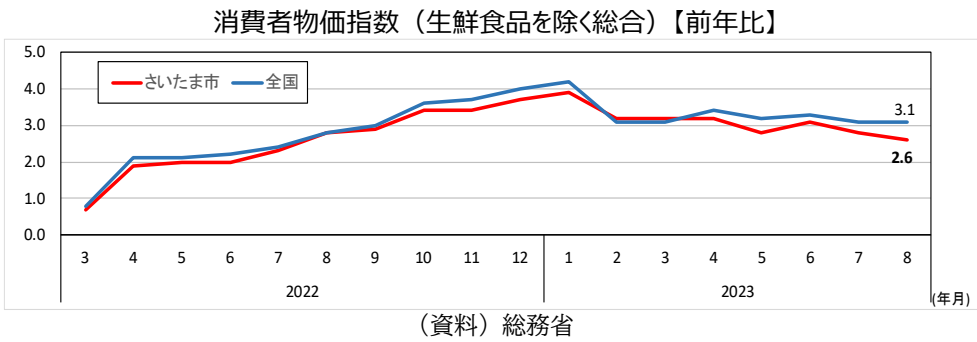
8月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.20倍で前月比0.01ポイント上昇した(2か月ぶりの上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.34倍で前月比0.21ポイント上昇した(3か月ぶりの上昇)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.2ポイント上昇した(前年同月比3か月連続の上昇)。

7 企業倒産 ~増加傾向にある



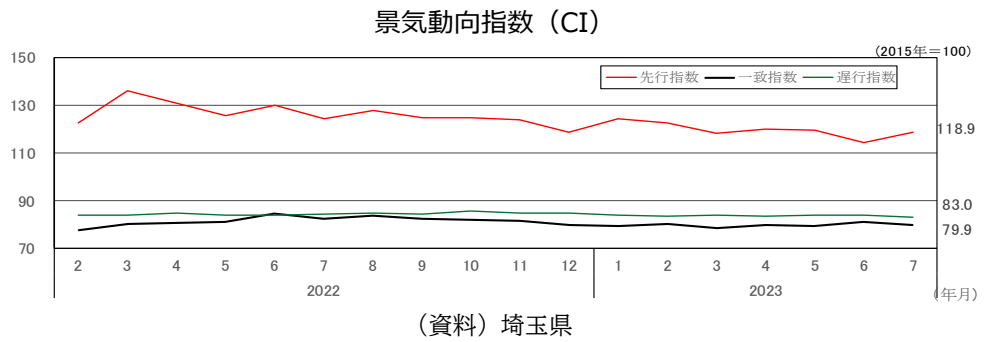
8月の企業倒産件数は、37件で前年同月比15件の増加となった。負債総額は37億円で同横ばいとなった。
業種別にみると、建設業が最多で12件。次いでサービス業が9件、製造業が8件と続いている。主因別では、販売不振が31件となっている。

8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



8月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比2.6%上昇した。食料(調理食品など)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- 7月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、79.9で前月比1.3ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、118.9で同4.7ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、83.0で同0.9ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。